

会 議 議 事 録

1 会議名	令和5年度 第3回 長岡市障害者施策推進協議会
2 開催日時	令和5年12月4日（月曜日） 午後2時から午後3時50分まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	<p>(委員) 阿部委員 岡村委員 加藤委員 菊池委員 近藤委員 柴野委員 田中(晋)委員 田中(春)委員 土田委員 長谷川委員 藤田委員 野口委員 目黒委員 八子委員（代理者出席） 米山委員</p> <p>(事務局) 福祉課長ほか関係職員 福祉総務課長ほか関係職員 子ども家庭センター所長 保育課長補佐 学校教育課長 長岡市社会福祉協議会事務局長</p>
5 欠席者名	(委員) 五十嵐委員 棚橋委員 沼田委員 山口委員
6 議題	<p>(1) 第7期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第3期障害児福祉計画の総論（中間案）について</p> <p>(2) パブリックコメントの実施について</p> <p>(3) その他</p>
7 審議の内容	
発言者	議 事 内 容
福祉課長補佐	<p>○開会</p> <p>・欠席委員報告</p> <p>○配布資料の確認等</p>

<p>委員長</p>	<p>○委員長あいさつ 年が押し迫りクリスマスも近くなってきたところ、お忙しい中お集まりいただきお礼申し上げます。 本日は、今年度第3回目の協議会で内容が盛りだくさんだが、よろしくお願ひしたい。</p> <p>○会議の傍聴・公開についての確認 ※傍聴者がいないことを確認。</p> <p>○議題 (1) 第7期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第3期障害児福祉計画の総論(中間案)について、事務局から説明願う。</p>
<p>福祉課長 子ども家庭センター 所長</p>	<p>(資料 No. 1 をもとに説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>委員の皆様には事前に資料を確認いただき、様々な意見や質問をいただいた。今回は中間案としてボリュームが多いということで、事務局が事前に資料に関する意見や質問の照会を行った。その意見や質問に対する事務局の考えを記載し一覧にまとめたものが、当日配布資料としてお手元に配布されている。本日は、この資料に沿って事務局から説明していただくので、提案委員の方は、説明後に意見等があればお話しいただきたい。 なお、多くの意見や質問をいただいたので、基本的には事前に受け付けたものに対する回答をしたいと思うが、時間が許す限り、その他の意見等があればお聞きしたいと思っている。皆様のスムーズな議事進行にご協力お願ひしたい。 それでは、当日資料について、事務局から説明願う。</p>
<p>福祉課長</p>	<p>(当日配布資料：No. 1 を説明)</p>
<p>委員</p>	<p>いただいた回答と私が考えてることは少し違うかなと思っ ている。違和感を感じているのは、「親なき後の支援」という言葉が、福祉を離れて、家族介護、家庭介護に頼っているというイメージがある。親が亡くなった後にどうするのかという本来</p>

福祉課長	<p>社会が福祉を使いながら対応していくべきものを、今までは親が支えていたものを、今度は誰が支えるかという形にとらえられてしまう。もともとは社会がしっかりと福祉を支えていくべきものだが、それまで親だったからという風を感じる。</p> <p>実際私も、先日障害支援区分認定のために医師の意見書が必要となり妻と一緒に医者に行ったら、まだ理解が進んでいなかったのか、あるいは私の言い方悪かったのかと思うが、「奥さんがいるじゃないか、奥さんじゃ駄目なのか」という言い方をされた。家族に頼っているという実態がまだまだあるのかなと感じるため、この部分をどのように受け止めたらいいいのかと思い提案した。</p> <p>私も障害者団体の要望会に参加すると、「うちの子どもたちは、私たちが亡くなった後どうなるのだろうか」ということを度々お聞きする。これらと同じ内容という理解でよろしいか。</p>
委員	<p>国でも「親なき後の支援」という言葉を使っているようなので、長岡市だけが使っているということではないと思うが、この言葉が、それは普通にやっけていて当たり前じゃないかというような気がして、言い方を少し変えた方がいいのではないかと私個人としては思っている。他の委員の皆さんがどのようにお考えかわからないが、情緒に頼っているように受け止めているところである。</p>
福祉課長	<p>先ほどの要望会などで、出席者からは、「例えば私が亡くなった後は、この子たちは施設に入るんじゃないか、施設に入るだけしか選択肢がないのか、あるいは、その施設に入れるかどうかも定かではなくて、そのようなことを心配している」という声を伺っている。私どもとしても、当然、自分たちでできることはやってもらう必要はあるが、それすらも叶わない時は、社会として、手を差し伸べる必要があると考えている。ご意見としてきちんと受けとめ、その精神については、実際とるべき行動には反映させていきたいと思う。</p>
委員	<p>よろしくお願ひしたい。</p>

福祉課長	(当日配布資料：No. 2 を説明)
委員	了解した。細かいところだが気になったため提案した。項目等のつけ方は大体ルールがあると思うため、それを整理していただければと思う。
福祉課長	(当日配布資料：No. 3 を説明)
委員	内容については理解した。本音としては、デフリンピックの認知度は大変低い状況になっており、全国でも10%程度しか認知度がない状態。そのため、長岡市民に知ってもらう意味でも、デフリンピック、デフスポーツという言葉を入れてもらい、障害者スポーツの中にデフリンピック、デフスポーツがあるんだということをわかっていただければという意味で提案した。市の考えについては了解した。これからも色々ご協力をよろしくお願ひしたい。
福祉総務課長	(当日配布資料：No. 4 を説明)
委員	了解した。
福祉課長	(当日配布資料：No. 5 を説明)
委員	参考にしてもらえればと思う。
福祉総務課長	(当日配布資料：No. 6 を説明)
委員	健常者がやる活動と、実際に障害のある方がやる活動が別々に存在するのではなく、どちらも参加できる包括的な活動があればいいのかなと思ひ提案した。回答を聞くと、まだやはり分かれているなという感じがするため、より包括的な何か活動があるといいのかなと感じた。
福祉総務課長	今後どのような形がよいか、また検討していきたい。
福祉課長	(当日配布資料：No. 7 を説明)

委員	よろしくお願ひしたい。
福祉課長	(当日配布資料 : No. 8 を説明)
委員	特に情報障害と言われる視覚障害と聴覚障害の場合は、このICT技術によって非常にそのアクセス環境が改善されているという事実は、私が言うまでもなく福祉課の皆さんは十分にご存知だと思うが、情報提供を受けるという立場もそうだが、逆に情報に積極的にアクセスするという技術も課長がおっしゃったとおり日進月歩であるため、アンテナをしっかりと張り巡らしていただき、先取りとまではいかないとしても、これを活用した情報障害者に対する提供を早め早めにお願ひしたいと思っている。
委員	次の私が提案したNo. 9の質問は、ほぼ同じ内容のため割愛していただいて大丈夫。
福祉課長	(当日配布資料 : No. 10 を説明)
委員	了解した。
福祉課長	(当日配布資料 : No. 11 を説明)
委員	了解した。
福祉課長	(当日配布資料 : No. 12 を説明)
委員	了解した。
福祉課長	(当日配布資料 : No. 13 を説明)
委員	了解した。
福祉課長	(当日配布資料 : No. 14 を説明)

委員	<p>回答については了解した。中身を議論する場ではないため、あまり詳しい話はしないが、大事なのは一般の人とのふれあい。人目に触れるところで、障害者活動をすることが大事だと常々思っている。この度、ふれあいコンサートから、ナカドマでの催しに移ったということで、ちょっと物足りないことがある。それは、そこに出演する障害当事者の数が、例えば10なら、10から1つ2つに減ってしまったことと、ボランティアスタッフの皆さんがほとんどこれに関わるものがなくなったということ。先ほど課長が、より多くの方の目に触れるナカドマの事業とおっしゃったが、逆に言うと、すこやか・ともしびまつりの在り方そのもので、なぜもっと一般の人が来ないのか、福祉関係者しか来ないのか、そこが一つ問題だと感じる。すこやか・ともしびまつりの要綱を見てみると、「一般の皆さんと障害のあるあるいは高齢の皆さんとのふれあい」と書いてある。それであれば、もっともっと、すこやか・ともしびまつりに一般の人が来るような工夫をするべきではないかと思う。</p>
福祉課長	<p>今の指摘を踏まえて、また内部や皆様からのお知恵もいただきながら協議したい。</p>
福祉総務課長	<p>(当日配布資料：No. 15を説明)</p>
委員	<p>私が意図したところと回答が違っていたが、いわゆる在宅の障害者を想定して提案をした。在宅の障害者は、自分でWEBを見られる環境を持っている方と持っていない方がいる。これまでは、会場に来れば、自分の作品が展示してあるし、他の方々の作品も見たり感じたりすることができた。WEB展示も評価をいただいているようなので大事だとは思いますが、ただそうではなくて、実際会場に来て、体感するというか、例えば視覚障害のある方はWEBだとなかなかわからないが、会場に来て色々と説明を聞きながら、あるいは来た方々と交流しながらということが大事なのではと感じている。その辺りをくみ取っていただくとありがたい。</p>
福祉総務課長	<p>デジタルデバイド対策も必要かとは思いますが、お話のあったWEBが使えない方、高齢者や知的障害のある方などには、例え</p>

	<p>ば、紙に出力してお渡しする方法が考えられる。すこやか・ともしびまつり会場で作品展示を行う場合も、視覚障害のある方に関しては、触っても良い作品コーナーを設けるなど、色々と工夫ができるかと思うため、また皆様のお知恵を借りながら検討していきたいと考えている。</p>
委員	<p>よろしくお願ひしたい。</p>
福祉課長	<p>(当日配布資料：No. 16を説明)</p>
委員	<p>了解した。</p>
福祉課長	<p>(当日配布資料：No. 17を説明)</p>
委員	<p>了解した。</p>
福祉課長	<p>(当日配布資料：No. 18を説明)</p>
委員長	<p>提案委員は本日欠席のため次へ進む。</p>
福祉課長	<p>(当日配布資料：No. 19を説明)</p>
委員	<p>どうしても卒業後すぐに就労を目指した就労移行支援を利用できる生徒だけでなく、長期的な支援を必要とする就労継続支援B型の利用が必要な生徒が毎年一定数いる。ただ現状空きがないと言われる事業所も多いため、その辺が少しでも改善していくと、支援を受けながら働ける、社会に出られる生徒が増えるかなと感じる。よろしくお願ひしたい。</p>
福祉課長	<p>(当日配布資料：No. 20を説明)</p>
委員長	<p>提案委員は本日欠席のため次へ進む。</p>
福祉課長	<p>(当日配布資料：No. 21を説明)</p>
委員	<p>新規事業所もでき利用できる方も増えているが、現状とし</p>

	<p>て、週1日それだけしか利用が決まっていない現3年生がいる。本当に様々な取り組みをしていただきありがたいが、現状なかなか決まらないという事実もある。保護者が残りの週4日どうするのか今非常に悩んでおり、学校としても、3月までにどう埋めていけるのかを検討し、色々な事業所に当たっているが、人員がいない対応できないということで受け入れを断られている。</p> <p>数年かけてそれが改善されていくことは、とても希望が強いが、今この4月には社会に出ていかなければいけない、学校を卒業しなければいけない生徒が、どうやってこの春からを生きていくのか生活をしていくのかが喫緊の課題であり、そこをどう改善できるかが非常に大きな問題だと学校としては考えている。</p>
福祉課長	<p>現場の困り感としては私どももしっかりと受けとめているところであり、なかなかこういう課題は、一足飛びに解決できず、徐々に地道に対策をとっていくしかないかと思っている。ただその対策を緩めるつもりはないため、ご承知願いたい。</p>
福祉課長 障害者基幹相談支援 センター障害者基幹 相談支援担当係長	<p>(当日配布資料：No. 22を説明)</p>
委員	<p>この件については、色々な方から要望が出ているかと思うが、是非早いうちに体制ができていくとありがたい。</p>
福祉課長	<p>(当日配布資料：No. 23を説明)</p>
委員	<p>了解した。</p>
福祉課長	<p>(当日配布資料：No. 24を説明)</p>
委員	<p>書き方が悪く申し訳なかったが、提案した内容は、卒業後は18歳以上となり放課後等デイサービスが使えなくなってしまう、サービス利用が15時くらいで終わるため、仕事をしている</p>

	<p>保護者が18時くらいまでの間、その子の行き場をどうするかということが課題として多くの声があるという現状を伝えたもの。卒業後は、その時間を日中一時支援でないと埋めることができないというところで、ではどこがあるかと学校としても、長岡市が発行している事業所一覧を参考に日中一時支援の実施事業所に連絡してみたところ、現在、3事業所だけ利用可能という返事もらっている。48か所事業所があり全部に確認をしたわけではないが、現状3事業所しか可能でない現実があり、働く保護者は、働き方を変えたり、仕事を辞めないといけないのか、卒業した後、社会に出た子どもの世話をどうするかというところが保護者が抱える問題として大きい部分かと思いい提案した。</p> <p>在学中は、放課後等デイサービスも数多くあり、すごく手厚く支援を受けられるところではあるが、社会に出た途端になかなか難しくなる部分もあるのかなと考えているところ。</p> <p>是非、マンパワーという部分で増やしていける支援をしていただければ、そこを多くの事業所ができると、とても助かる保護者が多いのではないかと考えている。</p>
福祉課長	<p>また個別の事案ということで相談させていただきたい。</p> <p>(当日配布資料：No. 25を説明)</p>
委員	<p>具体的に言うと、私の娘が行動援護を利用しているが、コロナ禍以降、外出がなかなかできていない。これはやはり、事業所が縮小されて人がいないとか、その事業から手を引くなどの話があるようで、今まだ利用ができない状況にある。このような状況も含めて、事業所に対する支援もそうだし、長岡市の力をお借りできればと思う。</p>
福祉課長	<p>(当日配布資料：No. 26を説明)</p>
委員	<p>個人的で申し訳ないが、私がプールにも関わっており、ダイエープロビスフェニックスプールを使っているグループに入っている。そこに最近、市の水泳教室から移ってきたという見学者が増えてきて、社協のボランティアセンターから紹介された</p>

	<p>など何人か一緒に活動するようになった。ただその方たちだけでなく、もっと他にもいたはずだよと思う。ダイエープロビスが使えることはとてもありがたいことだが、ちょっと敷居が高くなり、プールや水に親しんでいたということから遠ざかっている人がいるのではないかと感じたため提案した。</p>
<p>福祉課長</p>	<p>今ほど言い忘れたが、市で行っていた水泳教室で抱えていた悩みが、水泳を教えていた先生が高齢となり身体がきつくなってきたということがある。なかなか跡を継ぐ方もいないということで悩んだ部分である。</p>
<p>委員</p>	<p>今後ともダイエープロビスを大勢の方が使えるようになるといいなと思っている。よろしくお願ひしたい。</p>
<p>子ども家庭センター 所長</p>	<p>(当日配布資料：No. 27を説明)</p>
<p>委員</p>	<p>了解した。中越圏域としても、医療的ケア児に関して検討を始めたため、その部分を含めて協議させていただければと思う。</p>
<p>福祉課長</p>	<p>(当日配布資料：No. 28を説明)</p>
<p>委員</p>	<p>市政だよりに載せていただけるということで大変ありがたい。パブリックコメントは、とにかく広く色々な方からたくさん意見を募集することが大事だと思っているため、様々な方法を考えていただければありがたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>28項目という多くのご意見等をいただき大変ありがたい。ただ今の意見なども聞き、他に意見等がある方はいるか。特にないとのため、次に進みたいと思う。</p>
<p>福祉課長</p>	<p>議題(2)パブリックコメントの実施について、事務局から説明願う。</p> <p>(資料No. 2をもとに説明)</p>

<p>委員長</p>	<p>昨年度実施した調査、様々な懇談会、本協議会そしてパブリックコメントと広く市民の方の意見を聞く機会となると思う。計画策定にあたっては、福祉課長から話があったように、長岡市障害者自立支援協議会がある。そこでは、相談体制部会、サービス受け皿検討部会、就労部会、地域づくり部会、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム協議の場があり、実際に現場で活動されてる方、関係する方々が様々なことを検討・協議している。これらの意見も踏まえ、最終的にまとめていきたいと思う。</p> <p>では（３）その他だが、事務局からは特になくのため、皆様から何かあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>基本的な問題も含まれており、本日は医師会の委員の方もいるため、是非一言だけお願い申し上げたい。</p> <p>先ほどの「親なき後の支援」の部分でも少し触れたが、先日障害支援区分認定のために医師の意見書が必要となり脳神経の先生に事前に連絡を入れ承認を得た上で訪ねたが、診察室に入った開口一番、「これは眼科ではないのか。あなたはどの辺まで見えないのか。」と言われた。日常生活に必要なための区分認定のためだと申し上げたが、どこまで見えるのかという話から始まり、同行援護を普段からお願いしているということ話をした。その時に妻と一緒にいたが「奥さんがいるじゃないか、奥さんじゃ駄目なのか」という言い方をされた。常に妻がいるわけではないため同行援護をお願いしたい旨を伝えたところだが、先生がわかってくれたかはわからないが、認定区分のための医師の意見書ということで、基本的な部分でもう少し医師の方のご理解をいただきたいかった。これは私だけの経験なのかかわからないが、よろしく願いしたい。</p> <p>また、もう一つ、かかりつけ医というものがあるが、私の場合は全盲であり、加えて健康なため、かかりつけ医がない。かかりつけ医がなかったためインフルエンザの注射をしたこともあり、この度は脳神経の先生を訪ねた。是非、医師会の皆様からもご理解をいただきたいと思っている。</p>
<p>委員長</p>	<p>以上で議題を終了し、進行を事務局にお返しする。</p>

福祉課長補佐	○閉会（事務局より事務連絡） ・次回会議日程 ・議事録の内容確認及びホームページへの掲載
8 会議資料	別添のとおり